

(平成21年9月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>9月期の野菜の入荷状況は、根菜類や葉菜類では好天に恵まれて安定した入荷状況となったが、果菜類は夏期の日照不足で樹勢が低下したことから着果不良となり、入荷が減少した。また、土物類については全国的な品薄状態が続いているものの、中央集散機能が発揮されて入荷の減少は見られず、野菜全体の入荷量は前年並みとなった。</p> <p>価格は、果菜類は入荷減により、土物類は品薄状態によりそれぞれ単価高となったが、根菜類や葉菜類では前月の高値による反動から単価安となった品目が多く、野菜全体では前年同期を4%下回った。</p> <p>品目別には、長大根、ほうれんそう、レタス、きゅうり、ピーマンが入荷増の単価安、キャベツ、トマトは入荷減の単価高となり、西洋にんじん、玉葱は入荷増の単価高となった。また、はくさい、ばれいしょは入荷前年並みの単価高、ナスは入荷前年並みの単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が5%増加し、価格は4%安となった。 葉菜類は、入荷が前年並みで、価格は11%安となった。 果菜類は、入荷が10%減少し、価格は3%高となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は5%高となった。</p>
果 実	<p>9月期の果実の入荷状況は、柑橘類や柿類が表年のため入荷増となり、りんご類は順調な作柄で前年並みの入荷となったが、梨類、ぶどう類、メロン類は天候不順や生産面積の減少などから入荷減となり、果実全体の入荷量は前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は、梨類が生育期の降雨による食味の低下から単価安となった他、不況により嗜好品である果物全般に需要が低迷し、果実全体では入荷減ながら前年並みとなった。</p> <p>品目別には、津軽りんご、二十世紀梨、刀根・平核柿が入荷増の単価安、巨峰、アールスメロンが入荷減の単価高となり、みかんは入荷増の単価高、豊水梨は入荷減の単価前年並みとなった。</p> <p>柑橘類は、入荷が7%増加し、価格は14%安となった。 りんご類は、入荷が前年並みで、価格は9%安となった。 梨類は、入荷が11%減少し、価格は5%安となった。 柿類は、入荷が5%増加し、価格は7%安となった。 ぶどう類は、入荷が16%減少し、価格は5%高となった。 メロン類は、入荷が12%減少し、価格は23%高となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長大根</p>	<p>北海道を中心に、青森県、兵庫県、岩手県、石川県からの入荷。 各産地とも8月以降の好天に恵まれて作柄は良く、入荷量は前年同期を4%上回った。 価格は、入荷増により9%下回った。</p>
<p>西洋人参</p>	<p>北海道を中心とする入荷。 北海道では8月以降の好天に恵まれて作柄は良く、入荷量は前年同期を9%上回った。 価格は、前年が単価安で推移したため、入荷増ながら前年同期を14%上回った。</p>
<p>【葉菜類】 はくさい</p>	<p>長野県を中心に、北海道からの入荷。 各産地とも8月以降の雨不足から小玉傾向となったものの、中央集散機能の発揮により、入荷量は前年並みとなった。 価格は、全国的には品薄傾向だったことから、前年同期を6%上回った。</p>
<p>キャベツ</p>	<p>群馬県を中心に、長野県、北海道、茨城県からの入荷。 各産地とも8月以降の雨不足から小玉傾向となり、生育遅れも見られたことから、入荷量は前年同期を6%下回った。 価格は、全国的な品薄状態から、前年同期を45%上回った。</p>
<p>ほうれんそう</p>	<p>岐阜県を中心に、滋賀県、北海道、茨城県、和歌山県からの入荷。 各産地ともに干ばつ傾向ではあったものの、安定した天候から作柄は良く、入荷量は前年同期を23%上回った。 価格は、入荷増により前年同期を24%下回った。</p>
<p>レタス</p>	<p>長野県を中心に、茨城県、北海道からの入荷。 各産地とも9月中旬の降雨により遅れていた生育が回復し、入荷量は前年同期を5%上回った。 価格は、入荷増に加え、前月の極端な高値による反動から、前年同期を35%下回った。</p>
<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>福島県を中心に、京都府、北海道、愛媛県、滋賀県からの入荷。 各産地とも好天に恵まれて作柄は良く、入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は、前月の高値による反動から、前年同期を25%下回った。</p>

なす	<p>京都府を中心に，徳島県，岐阜県，奈良県，高知県からの入荷。 各産地とも好天に恵まれて作柄は良く，作付面積の減少にもかかわらず，入荷量は前年並みとなった。 価格は，前月の高値による反動から，前年同期を14%下回った。</p>
トマト	<p>北海道を中心に，茨城県，岐阜県，滋賀県，京都府からの入荷。 主力の北海道で，夏期の日照不足で樹勢が低下したことから着果不良となり，入荷量は前年同期を16%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を18%上回った。</p>
ピーマン	<p>茨城県を中心に，大分県，兵庫県，福島県からの入荷。 夏期の低温による生育遅れから大分県産の入荷が続き，後続の茨城県産と重なったことで，全体の入荷量は前年同期を38%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を35%下回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>北海道を中心とする入荷。 北海道では夏期の長雨と日照不足により作柄が悪かったが，中央集散機能が発揮され，入荷量は前年並みとなった。 価格は，全国的な品薄状態が続いており，前年同期を14%上回った。</p>
たまねぎ	<p>北海道を中心に，兵庫県，中国，京都府からの入荷。 各産地とも生育期の日照不足等により作柄が悪かったが，中国産の入荷が増加したことにより，入荷量は前年同期を3%上回った。 価格は，全国的な品薄状態が続いており，前年同期を41%上回った。</p>
<p>【その他野菜】 松茸</p>	<p>中国を中心に，カナダ，アメリカ，韓国，岩手県からの入荷。 減少していた中国産の輸入量が回復しており，全体の入荷量は前年同期を23%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を16%下回った。</p>
栗	<p>愛媛県を中心に，京都府，島根県，熊本県からの入荷。 各産地とも生育期の降雨によって大玉傾向となり，入荷量は前年同期を15%上回った。 価格は，入荷増により前年同期を7%下回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
みかん	<p>宮崎県を中心に、福岡県、和歌山県、長崎県、佐賀県からの入荷。本年は表年のため着果数が多く、入荷量は前年同期を25%上回った。</p> <p>価格は、食味は良好で、入荷増ながら前年同期を7%上回った。</p>
津軽 （サン含む）	<p>青森県を中心に、長野県、山形県からの入荷。</p> <p>各産地とも目立った気象被害はなく作柄良好で、入荷量は前年同期を9%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により前年同期を10%下回った。</p>
豊水梨	<p>長野県を中心に、富山県、福島県、滋賀県、鳥取県からの入荷。</p> <p>主力の長野県では開花期に凍害を受け、着果数が減少したことから入荷量は前年同期を18%下回った。</p> <p>価格は、長梅雨の影響で食味が低下し、入荷減にもかかわらず前年並みとなった。</p>
二十世紀梨	<p>鳥取県を中心に、京都府、長野県からの入荷。</p> <p>各産地とも生育期の降雨によって大玉傾向となり、入荷量は前年同期を8%上回った。</p> <p>価格は、長梅雨の影響で食味が低下し、前年同期を16%下回った。</p>
刀根・平核無柿	<p>和歌山県を中心に、奈良県からの入荷。</p> <p>各産地とも8月以降の干ばつによって小玉傾向となったが、着果数は多く、入荷量は前年同期を3%上回った。</p> <p>価格は、単価の安い小玉中心の入荷となったため、前年同期を9%下回った。</p>
巨峰	<p>長野県を中心に、山梨県、福岡県からの入荷。</p> <p>主力の長野県では夏期の日照不足から着色が遅れ、入荷量は前年同期を14%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を6%上回った。</p>
アールス	<p>茨城県を中心に、静岡県、石川県、愛知県、長野県からの入荷。</p> <p>静岡県では作付面積が減少しており、入荷量は前年同期を9%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により前年同期を17%上回った。</p>